



平成 28 年 9 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社アビスト
代表者名 代表取締役社長 進 勝博
(コード：6087、東証一部)
問合せ先 専務取締役経営管理本部長
島村恒基
(TEL 03-5942-4649)

中期経営計画ローリングに関するお知らせ

当社は、平成 27 年 9 月 16 日付けで公表いたしました中期経営計画につきまして、事業環境の変化や最近の業績動向を踏まえ、新たに平成 28 年 9 月期から平成 31 年 9 月期までの 3 期間を対象とする中期経営計画を策定しましたので、下記のとおりその概要をお知らせいたします。

記

1. 数値目標

	平成 31 年 9 月期
売上高	1 1, 4 1 4 百万円
営業利益	1, 8 6 9 百万円
売上高営業利益率	1 6. 4 %
経常利益	1, 8 6 6 百万円
当期純利益	1, 2 6 7 百万円

注) 前回公表した中期経営計画において、主な戦略目標とした請負業務の効率化と拡大ならびに当社得意領域の基盤確保等が順調に推移していることから、向こう 3 カ年においてより高い数値目標をめざしたものです。

また、平成 31 年 9 月期におきまして、ひとつの節目となります売上高 100 億円達成を具体的数値目標に掲げております。

2. コア事業である技術者派遣・請負事業における戦略目標

- ① 請負業務の効率化と拡大を図る（第 14 期の請負比率は 60. 4%）。
第 12 期目標：58. 3%、第 13 期目標：59. 8%、第 14 期目標：60. 4%
- ② 当社得意領域（第 1～第 3 コア領域）の売上構成比を拡大し、下記第 1～第 3 領域合わせた売上高合計を 70%以上で維持する。
＜第 1 領域＞自動車用ランプ、内装、ボデー設計
＜第 2 領域＞電装部品、機能部品、HV・EV 関連設計、解析
＜第 3 領域＞シャシー部品、空調部品設計
- ③ 2017 年 7 月に 3D プリント豊橋事業所を開所、海老名事業所と合わせ全ての 3D 事業を網羅、幅広い業種からの受注を目指す。
- ④ 現状の配属先にとどめず能力に見合った配置転換を行い、技術力を最大限に活かせる環境をつくる。

- ⑤ インダストリー4.0によって今までの常識が全く変わってしまい、当社が主とする取引先にも大きな波が押し寄せてきている事から、先行投資として個々の技術者の価値を高めるための教育を行い、中期的に社内に限らず社外も活用しながら育成をしていく。

3. 業種横断的目標

- ① 多様化する働き方に対し当社も福利厚生制度の改革を行い、社会や社員の要望に柔軟に対応する制度を構築するが、厳しく成果も求めていく。
- ② システム再構築を行う。事務管理の効率化と正確性向上を図り、人員構成比率の低下とともに利益率向上に貢献する。
- ③ 目まぐるしい社会・経済情勢の変動への感度を高め、当社の情報系及び機械系の技術のデータ化を図るとともに、両技術を融合させた新たな柱となりうる新規事業を模索する。
- ④ 新教育・研修制度の元年とし、当社独自の研修内容をもって社員教育を実施する。

4. 新規事業について

連結子会社で既に行っている水素水製造販売事業については、平成29年9月期以降の通期黒字化に加え、コミュニケーションロボット開発を事業化し、平成31年9月期には連結財務指標の売上・収益への貢献を目指す。

- (注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上